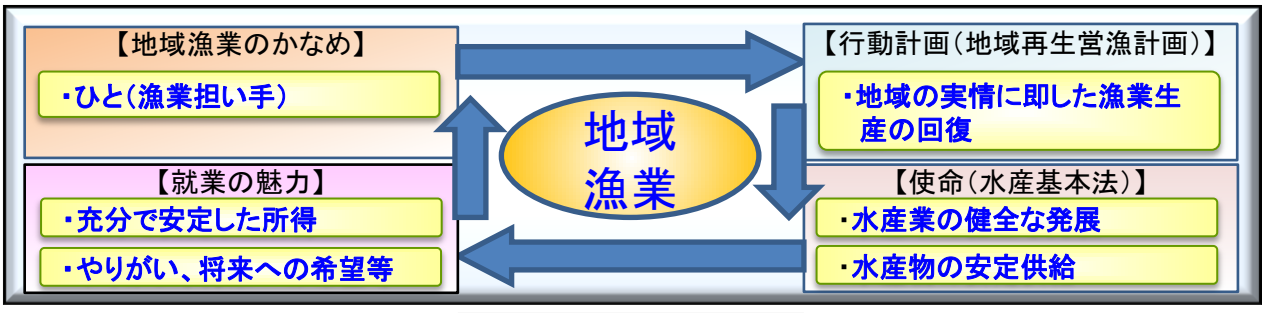


「岩手県漁業担い手育成ビジョン2016-2019」の概要【素案】

【策定の主旨】 地域漁業を振興するため、関係者と本県の漁業を取り巻く現状や課題に対する認識を共有し、連携して地域漁業の担い手を確保・育成するための指針とするもの。

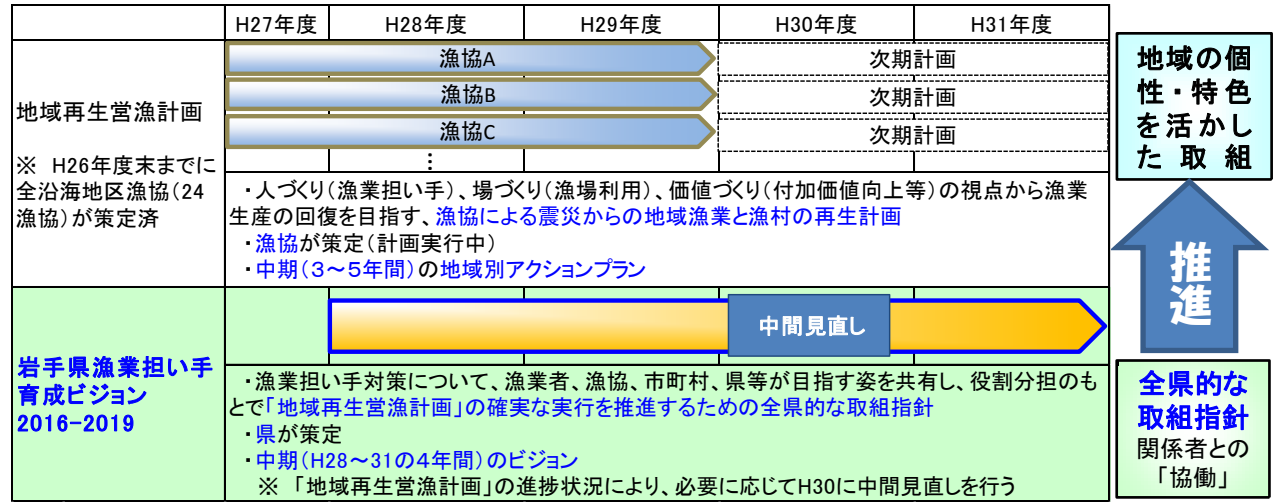
平成28年2月1日時点版
岩手県農林水産部水産振興課

1 目指す姿(各地域における持続的な漁業の実現)

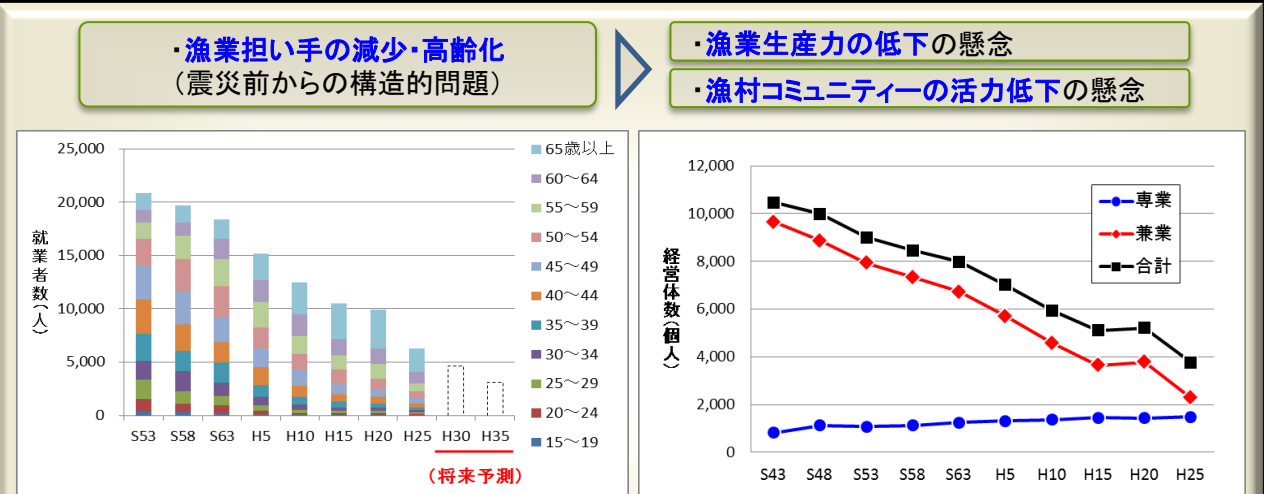


【基本理念】ひと(漁業担い手)を地域漁業のかなめとして、「ひとが創る地域漁業、ひとを創る地域漁業」を目指します。

2 ビジョンの位置付け(漁協の「地域再生営漁計画」との関係)



3 現状



4 二つの視点から見た課題・施策の展開

視点	対象	課題
【視点1】 地域漁業を担う多様な漁業担い手の育成(魅力ある就業環境の実現)	◆ 既存の担い手 魅力の発信	1 中核的漁業経営体の育成 2 小規模な経営体の生産の効率化 3 若者・女性等の取組促進
【視点2】 就業希望者の受入体制の整備等(新規就業者の確保・育成)	◆ 潜在的な就業希望者 魅力の共有	1 市町村単位の漁業担い手対策協議会等の設立 2 次代を担う就業希望者の確保 3 就業情報の発信強化

なりわいとしての地域漁業の「魅力」

- 充分で安定した所得
- 「やりがい」や「将来への希望」等の満足感

課題解決に向け、地域漁業の「魅力」の発信と共有を推進するための施策を展開

魅力の発信

- 中核的漁業経営体の育成
 - (1) 経営体の意欲に応じた養殖施設の配分
 - (2) 地域毎の経営体の育成目標の明確化(規模・数等)
 - (3) 経営体毎の生産性の把握・評価・改善指導
 - (4) 生産の機械化・省力化
 - (5) 販売方法の改善
- 小規模な経営体の生産の効率化
 - (1) 地域にとって適切な共同生産方式の合意形成・導入
 - (2) 共同利用機器等の効率的な整備
- 若者・女性等の取組促進
 - (1) 漁協青年部・女性部等の研究活動や実践的取組の促進

魅力の共有

- 市町村単位の漁業担い手対策協議会等の設立
 - (1) 各市町村の人口減少対策等を踏まえた漁業担い手対策の推進
- 次代を担う就業希望者の確保
 - (1) 長期研修機会の提供
 - (2) 雇用の就業機会の提供
 - (3) 新規参入時の初期投資の軽減
 - (4) 生活面の支援体制の強化
- 就業情報の発信強化
 - (1) 漁業就業支援フェアへの出展等
 - (2) 漁業体験・学習機会の提供
 - (3) 県内の水産系高校・大学との連携強化

5 ビジョンの基本目標

指標名	単位	現状値	地域漁業の「魅力」の評価指標			
			H28	H29	H30	H31
中核的漁業経営体数	経営体	283(H26)	390	445	500	505
共同生産体制の整備数	漁協	12(H27)	12	12	12	12
漁業担い手満足度(※)	点	0.71(H27)	0.75	0.80	0.90	1.00
市町村単位の漁業担い手対策協議会等の設立件数	件	2(H26)	8	10	12	12
新規漁業就業者数	人	40(H26)	50	55	60	65

※ 岩手県漁業士を対象にアンケート調査を実施し、漁業就業に対する満足度の評価を3点(非常に満足)～-3点(非常に不満)の7段階で採点した場合の平均点。